社会福祉法人 小湊福祉会
認可保育所

正信寺保育園

保育園のしおり（重要事項説明書）

- 令和７年度版 -

　このしおりは、当園への入園や進級にあたり、ご利用いただく保育について、知っておいていただきたい内容を説明するものです。内容をご確認いただき、別紙「重要事項説明書及び個人情報の取り扱いに係る同意書」にご署名の上、ご提出ください。
　分かりにくいことがあれば遠慮なくご質問ください。
　なお、よりよい保育を提供するため、年度途中であっても内容を見直し、変更する場合があります。あらかじめご理解とご了承をお願いいたします。

目次

1. 重要事項説明……1

2. 保育園からのお知らせ……5

3. 保育園からのおねがい……8

4. 保健関連のおねがい……13

5. 給食関連のおねがい……15

6. 年間予定表……別紙

1. 重要事項説明

1. 運営主体（事業者の概要）

事業者の名称 ： 社会福祉法人 小湊福祉会
事業者の所在地 ： 〒897-1122
鹿児島県南さつま市加世田小湊字渕下 8895 番地
事業者の連絡先 ： 0993-53-9839
代表者の氏名 ： 理事長 音羽 文雄
事 業 内 容 ： 保育所
特別保育事業（延長保育事業・一時預かり事業・障害児保育事業）
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ おから）
子育て支援センター

2. 施設の概要

種 別 ： 認可保育所
名 称 ： 正信寺保育園
所 在 地 ： 〒897-1122
鹿児島県南さつま市加世田小湊字渕下 8895 番地
連 絡 先 ： 0993-53-9839
施設長の氏名 ： 園長 音羽 信雄
開設年月日 ： 昭和 33 年 1 月 1 日 宗教法人 正信寺保育園 事業開始
昭和 50 年 3 月 31 日 社会福祉法人 小湊福祉会 認可（厚生省収児第 419 号）

3. 施設の目的及び運営方針

①施設の目的

児童福祉法、子ども・子育て支援法、こども基本法に基づき、心身ともに健やかに育成されるよう乳児及び幼児の保育事業を行うことを目的とします。

②運営方針

乳幼児期の子どもたちにとって大切なことは、のびのびとできる豊かな環境の中で心に深く残る経験（あそび）をいっぱい積むことです。本園は、子どもたち一人ひとりの側に立ち、ご家庭の方々と一緒になって子どもの成長に寄り添いながら、「あそび」を通して、個性豊かで自尊感を持てる子どもに育てることを課題にしています。

本園のあそびは、子どもが自分を実現し達成感を味わう活動として位置づけ、屋外では、季節に応じた動植物の採集・飼育・観察・栽培・収穫などの自然体験や、ゲーム、ごっこあそび、屋内ではゾーンあそび、身体あそびが中心となります。あそびの選択肢を拡げることに努めます。

職員は「明るく温かみのある主体的存在」として、子どもや保護者にかかわることができるように研修を続けます。

4. 施設・設備の概要

敷　地　面　積 ： 3431.88 ㎡
園　庭　面　積 ： 2744.08 ㎡
園 舎 の 構 造 ： 木造平屋建て
園　舎　面　積 ： 687.80 ㎡
設　　備 ： 乳児室　1 室
ほふく室　1 室
保育室　5 室　（一部床暖房設備）
遊戯室（ホール）　1 室
調理室　1 室
事務室 兼 医務室　1 室
調乳室　1 室
沐浴室　1 室　（乳児トイレに含む）
便所　5 室
大型園庭遊具　1 基
小型園庭遊具他

5. 提供する保育等の内容

当園が提供する保育等の内容は、次のとおりとします。
通　常　保　育 ： 項目 7 に記載する日及び時間においての保育の提供
延　長　保　育 ： 保育（標準・短）時間の開始前・終了後においての保育の提供
一時預かり保育 ： 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児への保育の提供
障 害 児 保 育 ： 障がいのある乳幼児への支援及び保育の提供
年　間　行　事 ： 年間予定表を参照

6. 職員の職種、員数及び職務の内容

園　　長 ： 1 人　（園務の統括、所属職員の監督）
主 任 保 育 士 ： 1 人　（園長業務の補佐、保護者の育児相談、保育の統括、地域の子育て支援）
保　育　士 ：10 人　（保育の立案・実施・記録等保育業務）
子 育 て 支 援 員 ： 1 人　（保育業務の補助）
保　育　補　助 ： 2 人　（保育業務の補助）
看　護　師 ： 1 人　（健康管理業務、保育業務の補助）
栄　養　士 ： 2 人　（栄養管理、献立作成、給食及びおやつの調理）
調　理　員 ： 2 人　（給食及びおやつの調理）
用　務　員 ： 1 人　（園内の整備・清掃、その他雑務）
事　務　員 ： 1 人　（事務業務）
そ の 他 職 員 ： 4 人　（放課後児童クラブ業務）

7. 保育の提供を行う（行わない）日・時間

開　園　日：月～土曜日
休　園　日：日曜日、祝日、年末年始、年度末２日程度（年間予定表を参照）
開園時間：7:00～19:00
保育標準時間：7:00～18:00　（11 時間）
保育短時間：各家庭で個別に設定可能　（8 時間）
延長保育：開所時間内での保育（標準・短）時間の開始前・終了後

8. 保護者から受領する費用の種類、支払を求める理由及びその額

①保育に係る利用者負担額（保育料）

支給認定を受けた市町村に対し、当該市町村が定める保育料をお支払いいただきます。

②保育の提供に要する実費に係る利用者負担額

副食費：保育料の無償化に伴う給食費（実質 4,500 円 免除対象者以外）
用品代：帽子・体操服、日用品、文房具他、保育に必要な物品購入費（実費 希望者のみ）
遠足代：保育等に係る行事への参加に要する費用（実費・現在未徴収 予算範囲内で実施）
プール代：Kit のプール利用に要する費用（年額 4,000 円 希望者のみ）
その他：上記に掲げるものの他、保育に必要と思われる費用（実費）

③延長保育に係る１人あたりの利用者負担額

１時間：　300 円
１ヶ月：2,500 円

④一時預かり保育に係る１人あたりの利用者負担額

半日（給食無）：３歳未満児　1,000 円　　３歳以上児　　800 円
１日（給食有）：３歳未満児　1,800 円　　３歳以上児　1,500 円

9. 利用定員

３号認定：０歳児　６人　　１歳児　８人　　２歳児 10 人
２号認定：３歳児 12 人　　４歳児 12 人　　５歳児 12 人
合計 60 人

10. 保育所の利用の開始・終了に関する事項、利用にあたっての留意事項

利用開始：市町村が行う利用調整に基づく
利用終了：小学校への就学等、２号・３号認定に該当しなくなったとき
保護者が児童福祉法その他の関係法令に定める支給要件に該当しなくなったとき
保護者より利用終了の申し出があったとき
その他、利用の継続について重大な支障又は困難が生じたとき
留意事項：他の利用者に対する一切の宗教活動、政治活動及び営利活動はご遠慮ください

11. 緊急時等における対応方法

当園は、園児に体調の急変や事故が発生した場合には、速やかに保護者の緊急連絡先へ連絡を行うとともに、かかりつけの医療機関又は指定する医療機関等での受診等、必要な措置を講じるものとします。

12. 非常災害対策

非常時の対応 ： 別途に定める消防計画や危機管理マニュアル等により対応いたします
避難・消火訓練 ： 月１回実施（年間予定表を参照）
引き渡し訓練 ： 年１回実施（年間予定表を参照）
緊急時連絡方法 ： コドモンによる一斉配信

13. 虐待の防止のための措置に関する事項

当園は、園児の人権の擁護と虐待の防止を図るため、以下の措置を講じています。
①年１回、職員に対して虐待防止研修を実施
②虐待防止マニュアルの整備・運用

14. 嘱託医・嘱託歯科医

①嘱託医
医療機関名 ： 松岡医院
医院長名 ： 松岡秀隆

②嘱託歯科医
医療機関名 ： 有川歯科医院
医院長名 ： 有川弥樹

15. 苦情・要望等に係る相談窓口

解決責任者 ： 理事長　音羽 文雄
受付担当者 ： 主任保育士 川﨑 明子
第三者委員 ： 法人監事　塘 宗男　TEL.0993-53-9629
法人監事　中釜 達郎　TEL.0993-53-9638

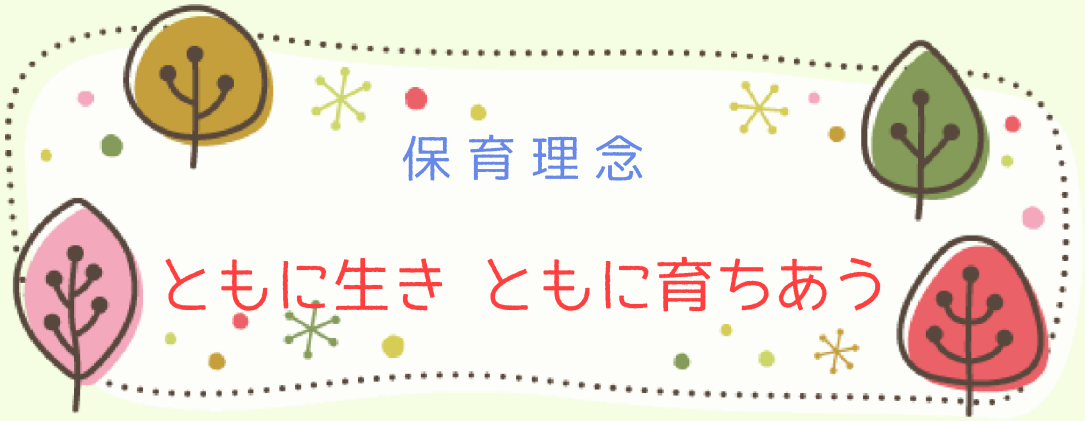
16. 利用者に対する保険内容

当園では、以下の保険に加入しています。
①日本スポーツ振興センター 災害共済給付制度
②東京海上日動火災保険株式会社 賠償責任保険・団体傷害保険

17. 個人情報の取り扱い

本法人の定める個人情報保護方針に基づき取り扱います。
入園・進級時に個人情報の取り扱いに係る同意書を提出していただきます。

2. 保育園からのお知らせ



1. 各種システム

システム名	機能	内容
保育 ICT システム「コドモン」	登降園	QR コードを園の玄関にある読み取り機器にかざすことで打刻（登降園時刻の記録）できます。 ※紙の QR コードをご希望の方はお伝えください。 ※延長保育利用料の計算等に使用します。 1 分前・1 分後の超過から利用料が発生するためご注意ください。
	登降園履歴	打刻した登降園時刻の履歴を確認できます。 場所：Home 画面＞その他（下部）＞登降園履歴
	保護者連絡	遅刻・欠席・お迎え・その他の連絡ができます。
	連絡帳	日々の連絡帳のやりとりができます。
	お知らせ	全体連絡・個別連絡、ドキュメンテーション等の各種連絡事項をタイムライン形式で確認できます。
	カレンダー	園全体や各クラス等の予定を確認できます。 場所：Home 画面＞カレンダー（下部）
	アンケート	園からの各種アンケートに回答できます。 ※嗜好調査、給食費の支払い方法、注文確認、0 歳児の入園関連等
	成長記録	身体測定の結果を確認できます。 場所：Home 画面＞その他（下部）＞成長記録
	献立表	献立表を確認できます。 ※紙の献立表をご希望の方はお伝えください。 場所：Home 画面＞その他（下部）＞献立表
	資料室	各種説明書や申請書類等の閲覧・保存できます。 ※園全体：年間予定表、各種システムのマニュアル等 保　健：登園届、投薬連絡票、症状に合わせた登園の目安等 給　食：遠足のお弁当について、お口の育て方について等
	連絡帳製本	連絡帳（ドキュメンテーション対象外）を製本して購入できます。 場所：Home 画面＞ストア（下部）
えんフォト	写真販売	サービス開始～在園中の写真（不定期更新）を閲覧・購入できます。 ※導入予定
enpay	請求	毎月上旬頃に LINE から前月分の給食費・延長保育利用料等の請求情報が届きます。 ※電子・クレジット・コンビニ決済可能。

2. 子ども主体の保育

当園では、「これからの保育園のあり方」について考え続けてきました。話し合いを重ねた結果、今までの指示・命令・禁止をしてきた「大人主導の保育」から、子どもをひとりの人として尊重し、子どもの主体性＝その子らしさ・その子の意欲・その子の声を大事にして見守る**「子ども主体の保育」**を推進していく方針となりました。

また、良質な保育を提供することにより、その後の子どもの発達にプラスの影響を与えるという研究結果から、日常的な振り返りや対話、研修・会議等を通して**「保育の質」**の向上（保育者が高めあうこと）が重要視されています。日々、保育の質の向上を目指して研鑽を積んでまいります。

今後は、保育の質を上げて子ども主体の保育を実施することにより、大人と子どもがともに育ち・学びあう**「共主体」**を育む拠点を目指していきます。

3. 保育ドキュメンテーション

令和５年度からコドモンを導入して２年が経過しました。

当園では保育ドキュメンテーションを、子どもそれぞれに適した保育を行い、**「保育の質の向上」「共主体」**へ繋げるための重要なツールとして運用いたします。

今後の運用方法



※子どもの学び・興味・関心・成長等に応じて個別の園児にフォーカスを当てる場合があります。

4. 絵本の貸し出し

貸し出し期間 ： 令和７年４月２日（水）～令和８年２月28日（土）

最終返却期限 ： 令和８年３月13日（金）

貸し出し方法 ： 絵本コーナー内「貸し出しノート」に記名

5. 年齢に応じた子どもの特徴・トラブル

0 ～ 2 歳 児 ： 自分の気持ちを伝える力（言葉）が未熟
噛みつき・引っかき行為が頻繁に起きる時期
→集団の中でしか得られない経験（ケンカ等）をしながら情緒を育みます。
※噛みつき・引っかき行為をされた子どもの保護者に連絡いたします。
※状況に応じて噛みつき・引っかき行為をした子どもの保護者に連絡いたします。

3 ～ 5 歳 児 ： 3 歳 言葉での表現や意思疎通が未熟
友だちとの関わりが活発になる
叩く・引っかき行為が起きる時期
4～5 歳 語彙が豊富になる
言葉のトラブルが起きる時期
→ケンカを経験して心が豊かになります。
→子どもたち自身で解決（仲直り）できるようになります。
※保育者は介入せず子どもたちの経験を大事にして成長を温かく見守ります。
※危険が生じる場合は保育者が介入いたします。
※叩く・引っかき行為が起きた場合は双方の保護者に連絡いたします。

6. 安全性について

安全とは、危機察知能力と危機回避能力によって確保されるものです。

乳児から幼児へ成長するに連れて経験から学び、推測してやってみることで新たな経験が蓄積され、予測の精度を高めていき、「危険なもの・こと」「どのように対処するか」の判断力を身につけていきます。それに加え、小さな危険と背中合わせの適切なチャレンジに取り組むことで、身体と心をコントロールする力も身についてきます。この 2 つの力を獲得し、小さなチャレンジを積み重ねて養っていくことが最も安全性を高める方法です。

逆に、過度な安全の導入（危険の排除）は、2 つの能力の発達の機会を減らすことに繋がります。

7. トイレトレーニング

トイレトレーニングを始める時期について、年齢によって決めてしまうと、尿意を感じ取りにくくなったり、膀胱に尿を貯められなくなったりする可能性があります。そのため、当園では特定の年齢から始めるのではなく、それぞれの子どもの発達・成長に合わせ、下記 4 項目全てを目安として実施開始いたします。

・トイレまで自分で歩いて行くことができる
・便座やおまるにしっかりとした姿勢で座ることができる
・保育者とのコミュニケーションをとる（意志を伝えあう）ことができる
・おしっこの時間間隔が 1 時間 30 分以上空いていること

3. 保育園からのおねがい

1. 登園前の確認項目



CHECK　※コドモン資料室内「保育園における症状に合わせた登園の目安」参照
登園を控えることが望ましい状態について、より詳細に記載しています。
体調不良時の登園の判断のご参考にしてください。

2. その他確認項目

①かばんや服のポケットにお菓子・玩具・お金等が入っていないか
②髪の毛が長い場合は結んでいるか（給食に髪の毛が付いてしまうため）
③ヘアゴム・髪留め等は飾りのついていないシンプルな物か（窒息・誤飲・誤嚥等の危険性あり）

3. 各種連絡

コドモンの保護者連絡機能でご連絡をお願いいたします。

連　絡　帳 ： 0〜1 歳児　登園予定日に全項目記録・送信
2〜5 歳児　登園予定日（水遊び・プール、感染症時期のみ）に「検温」記録・送信

連　絡 ： 遅刻・欠席の連絡
9 時までにご連絡をお願いいたします。
9 時までに連絡・登園していない場合は、出欠確認のため園より連絡いたします。

お　迎　え ： 保護者以外の方がお迎えに来る場合は、事前にご連絡をお願いいたします。
14 時以降はコドモンの確認が難しいため、電話連絡をお願いいたします。

そ　の　他 ： 連絡帳・遅刻・欠席以外の連絡時にご利用ください。

4. 連絡先・住所・勤務先等の変更

緊急時の連絡先として使用する場合があるため、早めのご連絡をお願いいたします。
また、連絡先と住所については保護者がコドモンの情報を更新可能です。早めの修正・更新をお願いいたします。勤務先については園で更新しますので、早めにお伝えください。
※コドモン資料室内「緊急連絡先・家族情報登録」参照

5. 園での一日

<table>
<tr><th>クラス</th><th>たんぽぽ</th><th>ちゅうりっぷ</th><th>さくら</th><th>すみれ</th><th>ばら</th><th>ひまわり</th></tr>
<tr><td>7:00</td><td colspan="6">登園
CHECK ※駐車場内ではお子さまの手を離さないでください。
※出入口（門）の上部ロックの開閉について、園児自身の出入り防止のため、
保護者が開閉をお願いいたします。閉め忘れにご注意ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">登園後</td><td colspan="6">コドモンで打刻（入室）
CHECK ※QR コードでの打刻操作をお願いいたします。
※保育者に声を掛け、お互いに登園の確認をお願いいたします。
家庭での体調不良・投薬・怪我・感染症・予防接種等の情報は口頭でお知らせください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">自由あそび</td><td colspan="3" rowspan="2">自由あそび</td></tr>
<tr><td>9:30</td><td colspan="3">おやつ</td></tr>
<tr><td>10:00</td><td colspan="2">朝の会
クラス別活動</td><td rowspan="2">朝の会
クラス別活動</td><td colspan="3" rowspan="2">朝の会
クラス別活動</td></tr>
<tr><td>11:00</td><td colspan="2" rowspan="3">給食</td></tr>
<tr><td>11:15</td><td rowspan="3">給食</td></tr>
<tr><td>11:30</td><td colspan="3" rowspan="2">給食
自由あそび</td></tr>
<tr><td>12:00</td><td colspan="2" rowspan="3">午睡</td></tr>
<tr><td>12:30</td><td rowspan="2">午睡</td></tr>
<tr><td>13:00</td><td colspan="2" rowspan="2">午睡</td><td>4～8 月
午睡</td></tr>
<tr><td>9～3 月
クラス別活動</td></tr>
<tr><td>14:30</td><td colspan="6">おやつ
帰りの会
合同保育（自由あそび）</td></tr>
<tr><td>降園</td><td colspan="6">コドモンで打刻（退室）
CHECK ※QR コードでの打刻操作をお願いいたします。
※保育者に声を掛け、お互いに降園の確認をお願いいたします。
※降園（お迎え）後は、お子さまから目を離さないようにご注意ください。
特に駐車場内ではお子さまの手を離さないでください。
※出入口（門）の上部ロックの開閉について、園児自身の出入り防止のため、
保護者が開閉をお願いいたします。閉め忘れにご注意ください。</td></tr>
<tr><td>18:00</td><td colspan="6">延長保育開始（保育標準時間）</td></tr>
<tr><td>19:00</td><td colspan="6">閉園</td></tr>
</table>

※3～5 歳児は週 1～2 回、異年齢（縦割り）保育を実施いたします。

6. 持ち物・名前を書く物

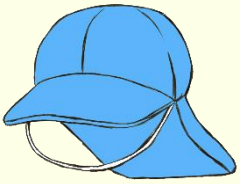
持ち物全てにご記名ください。お下がりの場合、間違い防止のため書いている名前を消してください。

リュック or 手提げかばん



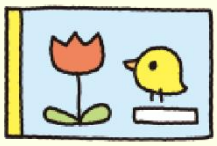
怪我・誤飲・誤嚥等の危険性あり。
・缶バッジ・キーホルダー

カラー帽子



0 歳児：青　　1 歳児：赤
2 歳児：黄　　3 歳児：桃
4 歳児：黄緑　　5 歳児：橙
子どもに合ったサイズに調整をお願いいたします。

出席カード（シール帳）



出席した日に子どもが自分でシールを貼ります。
緊急時に使用する場合があるため、園児欄と保護者欄への記入をお願いいたします。

着替え一式

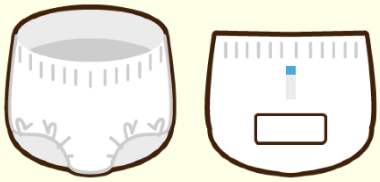


上着・ズボン・肌着・パンツ・靴下

ストック推奨。
汚れて構わない・子どもが着脱しやすい清潔な物。
0〜1 歳児：4〜5 組程度（ストック分含む）
2　歳　児：3〜4 組程度（ストック分含む）
3〜5 歳児：3 組程度（ストック分含む）
肌着・パンツ：綿素材推奨（ロンパース非推奨）
※パンツの数は発達による

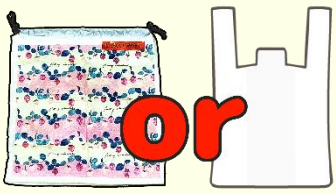
窒息・誤飲・誤嚥・転倒等の危険性あり。
・フードや紐がついている
・ビーズやスパンコール等の飾りがついている
・袖や裾の長さが子どもの体に合っていない
→裾上げ等調整をお願いいたします。

おむつ



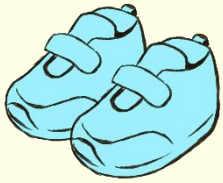
0〜1 歳児: 4〜6 枚程度
2　歳　児：4〜5 枚程度
3〜5 歳児: 必要な方のみ
※発達による

汚れ物（着替え）入れ



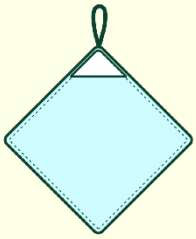
ビニールバッグ：再使用可能
ビ ニ ー ル 袋：使い捨て
ストック可能
持ち手付き推奨
1 枚毎記名推奨

運動靴



子どもに合ったサイズの靴。
マジックテープ推奨。
転倒等の危険性あり。
・サンダル・ブーツ等

口拭きタオル



ループタオル（ハンドタオル大）

「くち」と記入。
0～1 歳児：1 枚程度

おしり拭き



0～2 歳児：1 パック

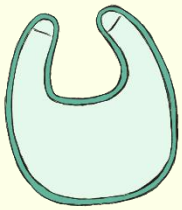
体拭きタオル



フェイスタオル＋紐（約 15cm）

0～5 歳児：1 枚程度

スタイ



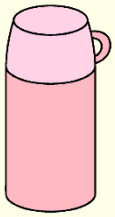
必要な方のみ

哺乳瓶



必要な方のみ

水筒



コップ付きタイプ推奨。
0～5 歳児：季節・気温による
中　　身：水 or 麦茶
　　氷を入れる場合しっかり溶ける程度の量

弁当箱一式



3～5 歳児
・弁 当 箱：耐熱 80℃以上
・お箸
・スプーン：メニューによる
・フォーク：メニューによる
・弁当包み：子どもが練習に使用
・白 ご 飯：110g 目安（食べられる量）

歯みがき一式



0～1 歳児：ガード付き歯ブラシ（月 1 回交換）
0～2 歳児：仕上げ磨き用歯ブラシ（不定期持ち帰り）
2～5 歳児：歯ブラシ（月 1 回交換）
0～5 歳児：コップ（年 1 回持ち帰り）

布団一式



敷布団・シーツ・毛布 or タオルケット・掛布団

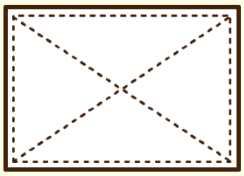
タオルケットはバスタオルでも代用可能。
敷布団カバーはファスナータイプ推奨。
0 ～ 5 歳 児：布団一式（週１回持ち帰り）
春 ・ 秋：敷布団＋シーツ＋毛布 使用
夏（2～5 歳児）：ゴザ（園所有）＋タオルケット 使用
冬 ：敷布団＋シーツ＋毛布＋掛布団 使用

おねしょシーツ



希望者のみ

雑巾



１枚：令和７年４月12日（土）までに提出

6. 引き渡し訓練

地震・洪水などの災害時には、園児を確実に保護者へ引き渡すことが重要となります。そのため、実際の災害時を想定した引き渡し訓練を実施いたします。実施の際には参加のご協力をお願いいたします。

また、実際の引き渡し時に使用する「災害時引き渡しカード」の記入・提出をお願いいたします。

※年間予定表参照

7. 記入・提出物一覧

記入

① 各持ち物全てへ必要事項の記入・記名

提出期限：令和７年４月12日（土）

①重要事項説明書及び個人情報の取り扱いに係る同意書
②マダニ刺咬予防と対策に係る同意書
③災害時引き渡しカード
④雑巾 １枚

4. 保健関連のおねがい

1. 保育中の体調不良

発熱していない場合でも、感染症が疑われる風邪・下痢・嘔吐等の症状や、普段とは明らかに違う様子が見られた場合は、体調変化に伴ってこまめに連絡いたします。

体調の急変もあり得るため、できる限り早めのお迎えをお願いいたします。また、すぐに早退できるように荷物を用意しておきますので、移動前にご連絡ください。



2. 保育中の怪我



基本的に看護師（看護師不在時は保育士）が応急処置を行います。

早急に病院受診が必要な場合は、保護者へ受診の確認を行った上で近隣の医療機関を受診します。また、保護者の同行をお願いする場合があるため、連絡先を変更した際には早めにお知らせください。

3. 感染症

各種感染症や衛生管理について、こども家庭庁掲載の「保育所における感染症対策ガイドライン」を基に実施対応いたします。

集団生活の場である以上、飛沫・空気・接触感染の予防は困難ですが、感染機会を減らす取組みとして、手洗いや流行時及び流行が疑われるときの消毒等を実施いたします。

体調不良時は、重篤化を防ぐため、早めの病院受診や家庭で過ごす等のご配慮をお願いいたします。

保育中に感染症の疑いがある場合、お迎えと確認のための病院受診をお願いすることがあります。

登園届が必要な感染症に罹患した場合はご連絡ください。治療後の登園には登園届の提出が必要です。

※コドモン資料室内「保育園における症状に合わせた登園の目安」「登園届」参照

4. 予防接種

予防接種は、接種後に接種部が腫れたり、発熱したりと体調が変化する可能性がありますので、降園後又は休みの日に接種をお願いいたします。

また、予防接種を受けた際にはお知らせください。

5. 薬の取り扱い

投薬は法律に定める「医療行為」となるため、原則として保育園では行うことができません。

病院で薬を処方される場合、保育園に通っている旨を主治医へ伝え、1日2回の処方や投薬時間の調整等のご相談をお願いいたします。

※コドモン資料室内「保育園での児童に対する投薬」「投薬連絡票」参照

6. 嘔吐・下痢の付着した衣類の取り扱い

秋から春先にかけて流行する嘔吐・下痢を伴う感染性胃腸炎は、人から人へと感染が拡大することが多い感染症です。代表的な原因ウイルスであるノロウイルス等は、水洗いや洗濯では死滅せず、洗った場所まで汚染し、乾燥して空気中に舞ったものを吸い込み、他者へ感染を拡大させていきます。

当園では、付着した衣類等を介して感染の場となる危険性を防ぐため、付着物を洗わずにそのまま返却いたします。

7. 乳幼児突然死症候群（SIDS）

それまで何も健康状態に問題のなかった乳幼児が、睡眠中に突然死亡するという病気です。原因は不明で、決定的な防止策はありません。しかし、日頃から SIDS に対して予防意識を持ち続け、できる限り危険因子を取り除く必要があります。当園では、大切な命を守るために下記の内容に取り組みます。

また、家庭でもご注意をお願いいたします。

・うつ伏せ寝は危険なため仰向け寝へ戻す（医師からうつ伏せ寝を推奨されている場合を除く）
・最低 1 人の保育者を午睡中常に配置
・午睡中の見守りと定期的な睡眠観察の実施（0～1 歳児：5 分毎）
・窒息防止の観点から枕の使用禁止
・布団周辺に紐状の危険な物を置かない
・定期的な健康診断の実施と子どもの発達の様子の把握

SIDS 普及啓発用リーフレット



5. 給食関連のおねがい

1. 行事食

毎月１回、行事食の提供をいたします。３歳以上児は白ご飯のご持参は不要です。

献立表やカレンダーに、【行事食】と記載されている日が行事食の日となります。

※コドモン内献立表 or コドモン内カレンダー参照



2. 0～2 歳児

スプーンの持ち方やお箸への移行等、年齢ではなく発達に応じて進めていきます。ご家庭でも同じように取り組んでいただけるとスムーズに進んでいくため、担任との連携をとっていただくようお願いいたします。また、栄養士にも気軽にご相談ください。

離乳食について、その都度個別に面談を行っています。当園では原則、初めての食材の提供をすることができません。そのため、育児休暇中にたくさんの食材にチャレンジしてみてください。食事形態については園での様子を見ながら、園と家庭とのギャップが少なくなるように連携を図り、ステップアップしていきます。

それぞれの子どもで寝返りの時期や歩き始める時期が違うように、歯の生えるペースもそれぞれ違います。お口の成長＝月齢ではありません。「急がば回れ」という言葉の通り、それぞれに合ったペースを見極めることが一番の近道です。

※コドモン資料室内「お口の育て方について」参照

3. 3～5 歳児

行事食の日を除き、お箸とご飯（110g）をご持参ください。ご飯の量についてはあくまでも目安なので、お子様の体調や摂取量を考慮して加減し、食べられる量をご持参ください。忘れた場合は給食室で提供いたします。その際は、後日生米（40g）の持参のご協力をお願いいたします。

ご飯は年間を通して保温庫で保温いたします。耐熱容器（80℃以上）のご準備をお願いいたします。

また、ハンカチ包みの練習をするため、ご飯とお箸を包んでご持参ください。お箸は木製で六角かつ滑り止めが付いている物だと使いやすいですが強制ではありません。

4. クッキング

例年、年長児を中心にクッキング活動を行ってきました。

しかし、どの年齢においても簡単な泥落としや玉ねぎの皮むき等、刃物を使わずとも食材に触れる（食に携わる）ことは可能だと考えています。上手にできなくても構いません。成功だけが体験ではありません。時には失敗をすることで「失敗は成功のもと」を経験することができます。

貴重な体験を全クラスでできるお手伝いを行っていきたいです。怪我をすることがあるかもしれませんが、ご了承ください。